

2012.6.1

創刊号

広報



せきかわ連合



▲ 笹ヶ峰ダム（乙見湖）と頸城アルプスの眺望（妙高市杉野沢）

笹ヶ峰ダム満水に向け万全！

～今冬の豪雪により水量豊富～

笹ヶ峰ダムは高田平野の農地を潤す水源として、1983年（昭和58年）に妙高市杉野沢に完成したロックフィルダムで、東北電力（株）の水力発電の水源としても年間を通して活用されています。

笹ヶ峰ダム諸元

有効貯水量	920万 ^m
計画最高貯水位	1220.30m
堤高	48.6m
堤長	317.6m
かんがい面積	6,504ha

※施設設備の老朽化により改修が検討されています。（詳細はP4）

Contents もくじ

通常議員総会開催……………	2
事業計画・決算・予算……………	3
国営かんがい排水事業 「関川二期地区」の推進 上越市板倉区国川地内 地すべり災害発生……………	4

連合の概要

受益面積	5,586.4ha
関川水系土地改良区	4,975.8ha
和田土地改良区	369.0ha
水上土地改良区	241.6ha

●発行：関川地区土地改良区連合 ●責任者：理事長 瀧澤 純一

〒943-0185 新潟県上越市大字長面14番地1 TEL 025-524-8800 FAX 025-522-5724 E-mail: sekiren@valley.ne.jp

関川地区土地改良区連合第40回通常議員総会開催

提出議案15件

原案どおり承認・議決!

3月26日、関川水系土地改良区会議室において、通常議員総会が開催されました。

開会にあたり、瀧澤理事長のあいさつ後、市川文一議員（関川水系土地改良区理事）が議長に選任され、平成22年度決算・平成24年度予算など15件が上程され、慎重審議の結果、原案どおり全会一致で承認・議決されました。

理事長あいさつ要旨

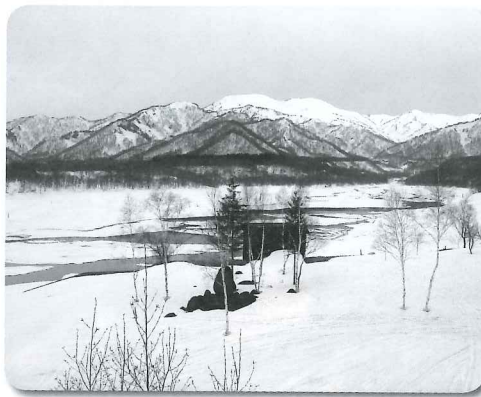


関川地区土地改良区連合
理事長
瀧澤 純一

はじめに

今冬は、大変な豪雪に見舞われ、3年豪雪（昭和57、59年）以来26年ぶりの大雪であったと言われております。皆様方におかれましても、除排雪

等で大変難儀されたことと思います。笹ヶ峰ダムにおいては、3月26日現在積雪331cmとなっており、ほぼ昨年と同じ積雪ですので、貯水に関しては心配ないと思います。



▲ 笹ヶ峰ダムの積雪状況

上越市板倉区国川地内 地すべり災害

東日本大震災から1年が経過しましたが、昨年は全国各地であらゆる災害が発生し、甚大な被害をもたらしたので、今年こそは平穏な年になるようお願いしていたところ、関川水系土地改良区管内の板倉区国川地内において大規模な地すべりが発生し、国営上江幹線水路が被災しました。国県に要望活動をした結果、ようやく仮復旧の目途がついたところ（4月20日仮返し水路完成）



▶ 敷設された仮設ポリパイプ

国営かんがい排水事業 「関川二期地区」の早期着手

3土地改良区で関川連合を組織して、ダム管理を行っておりますが、施設の老朽化が著しく、維持管理の地元負担が増加傾向にあるため、一刻も早く国営関川二期地区の事業着手を望んでいるところです。

また関川沿いには12か所の水力発電所があり、川の水を使って発電しているため、農業用水と発電用水の使用期間に見合った負担を、1月下旬に理事5名と事務局長とで東北電力本社（仙台市）を訪問し、要望したところ、東北電力も先の震災で甚大な被害を受けたので、現状のまま

今後についても、継続して農家負担の軽減になるよう東北電力、新潟県に対して要望活動を行うこといたします。

最後に

当連合においては、昨年度まで議員総会は年2回、8月に決算総会、3月に通常総会を開催しておりますが、経費削減の観点から今年度から年1回開催（3月）とし、平成22年度決算、平成24年度事業計画、予算が主な議題となります。

本日の提案議題については、承認案件が4件、議決案件が11件、報告案件が1件の計16件となっておりますが、慎重審議の上、承認または議決下さいますようお願い申し上げます。



▲ 理事長のあいさつに耳を傾ける議員

平成24年度事業計画

1 国営造成施設の

良好な管理の徹底

- ① 国有土地改良財産とする土地境界の確認・承認申請手続き。
- ② 第三者が国営造成施設を改築または他の目的で使用する場合の他目的の使用等の管理と承認申請手続き。

2 適正な取水管理対策の推進

- ① 関係土地改良区と調整を図り、公平な取水配分と用水量の確保。
- ② 笹ヶ峰ダム、野尻湖のかんがい期利水運用は、特に渇水時の計画的放流に努め、用水量を確保。



▲ 管理協定に基づき上江幹線水路沿線の草刈作業を行う下中町内会の方々（上越市三和区下中地内）

3 許可取水量の課題となる適正な取水管理については、信濃川水系土地改良調査管理事務所が調査を進める関川二期地区の用水計画と合わせ、必要用水量の確保に向け協議を行う。

3 笹ヶ峰ダム操作業務の対応

新潟県からのダム操作等業務受託は、ダム施設の保全管理に努め、ダム貯放流管理や洪水時の対応に万全を期し、渇水期の用水量の安定供給と災害の未然防止に努める。

ダム操作体制の課題である職員体制については、ダム管理規程の見直しに向け、新潟県や信濃川水系土地改良調査管理事務所と協議を進める。

4 笹ヶ峰ダム維持管理費の削減

笹ヶ峰ダム管理に伴う維持管理費の農家負担軽減に向けて新潟県及び東北電力（株）と協議を進める。

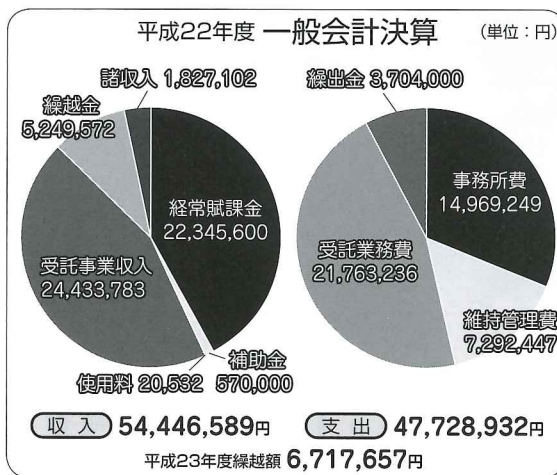
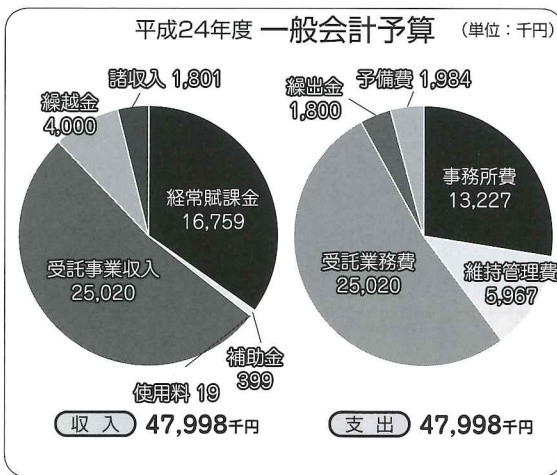
5 国営造成施設管理体制整備促進事業の目的

達成に向けた推進活動

用水路等が持つ多面的機能（防火用水・消流雪用水等）の活用を高め、非農家を含めた用水路等の維持管理に参加する体制を構築し、農家負担の軽減を図る。

平成22年度一般会計決算・平成24年度一般会計予算概要

3月26日の通常議員総会において、承認・議決された決算・予算の概要は次のとおりです。



会計項目の説明

収入

経常賦課金
連合の運営や維持管理に充てるため、各土地改良区より受益面積割で負担してもらうお金

補助金
事業のために国・県・市から支給されるお金

使用料
用水路などを農業用以外の目的で使用する人が負担するお金

受託事業収入
事業などの関係で、連合が新潟県より仕事を受けることによって、その対価として入ってくるお金

繰越金
前年度の会計で余って繰り越したお金

雑収入
雑収入（預金利子など）

支出

事務所費
連合が行う基本的な業務にかかるお金

維持管理費
農業用施設（水路・頭首工など）の維持管理にかかるお金

受託業務費
笹ヶ峰ダムの操作や事業推進活動などの受託を受けた業務にかかるお金

繰出金
連合が将来のために積み立てている会計に繰り出すお金

予備費
緊急かつ予想していなかった経費に充てるための財源にする予備的なお金

国営かんがい排水事業 「関川二期地区」の推進

国営関川農業水利事業完了後、30年が経過し、笹ヶ峰ダムの貯水池内は計画堆砂量を上回る堆砂が生じています。また、ダムの附帯施設、用水管理施設の老朽化等の課題があります。

この課題を解決し、農業用水の安定供給を図るため、平成20年度より国直轄の地域整備方向検討調査が実施されました。受益面積減に伴い、現状として用水不足が生じないため、堆砂対策は中長期対策として、笹ヶ峰ダムをはじめとした基幹的用水施設や水管理設備の老朽化とダム放流の有効落差を利用した小水力発電開発を主要工種とした地区調査【事業計画(案)策定】を平成23年度から実施中です。

当初、事業着工は平成27年度の予定でしたが、施設の老朽化が顕著なため、国県に要望活動を行った結果、1年前倒しの平成26年度から事業着工していただけたこととなりました。



▲ 関川二期地区推進協議会総会の様子 (5月15日)

事業概要

事業名 国営かんがい排水事業
事業主体 農林水産省

事業期間

平成26年度～平成34年度

概算事業費 100億円

事業内容

老朽化対策

- ① 笹ヶ峰ダム施設の整備更新
- ② 水管理システム施設の整備更新
- ③ 小水力発電開発

平成24年度地区調査の内容

- 受益面積・三条資格者の特定 (一筆調査の補足・名寄調査の作成など)
- 営農計画(案)の策定(土地利用計画の策定・経営計画の策定)
- 用水諸元の整理・水収支計算 (河川協議資料の作成など)
- ダム附帯施設・水管理施設・小水力発電施設の基本設計等
- 小水力発電施設等検討のための地形・地質調査(地形測量・ボーリング調査)
- 基本設計を踏まえた総事業費の算定(ダム施設・水路施設・水管理施設・小水力発電施設等)
- 基本設計を踏まえた概略効果の算定(総費用・作物生産・営農経費節減・維持管理費節減・水源かん養効果等)
- ダム周辺の生態系・景観に関する補足調査・環境配慮計画(案)の策定
- 事業計画書(案)の作成

上越市板倉区国川地内で 地すべり災害発生

上江幹線水路が被災

〔災害発生からの経過〕

平成24年3月7日に発生した板倉区国川地内の地すべりは、3月13日には国営上江幹線水路に達しました。

用水路の防護と通水断面確保のために、上江幹線水路内に仮設のポリパイプを設置していましたが、3月15日に土砂が用水路内の仮設ポリパイプを押し潰したため、通水が確保できなくなりました。

このため、平成24年度の上江幹線水路の通水を確保することが、急務となりました。

しかし、地すべりが続いている状態では幹線水路の復旧に着手する



▲ 地すべり災害の状況

ことができませぬ。

この事態に国・県・市の災害担当者より迅速に対応していただき、仮返し水路で対応することとなりました。

仮返し水路は、応急仮工事として施工し、許可水量の80%、毎秒4.5tを確保することとし、4月22日に無事通水試験が完了いたしました。

平成24年度の上江用水の通水は、80%の確保はされましたが、今後の天候により用水の調整などで対応する場合があります。

関係受益者のご理解とご協力をお願い申し上げます。

編集後記

国川地すべり災害において、被害に遭われた被災者に御見舞申し上げます。

さて、関川地区土地改良区連合広報創刊号の内容は、いかがでしたでしょうか。皆様にわかりやすい内容になっていきますでしょうか。

関川地区土地改良区連合では、かんがい用水の確保のため、ダム管理業務などに励んでおります。

今後とも広報を通じ、関係受益者の皆様への情報を発信していきたいと考えております。

皆様のご意見・ご要望・疑問点などがございましたら、表紙に記載しております関川地区土地改良区連合までご連絡いただけますと幸いです。